

胃集検通信

季刊 NO. 27

発行所
日本消化器集検学会
関東甲信越地方
野田ビル
(〒111) 東京都台東区浅草橋2-28-7
発行兼 関東甲信越地方会
編集者 編集委員会

(日本消化器集検学会関東甲信越地方会機関紙) 1部頒布定価1,000円(〒共)

題字・黒川利雄先生

胃集検は前年比20%増 —2年度の消化器集検全国統計—

第三十回日本消化器集検学会大会(会長、並木正義旭川医科大学教授)は十月八、九の両日、旭川市市民会館で開き、平成二年度消化器集検全国集計を委員委員長田達哉国立がんセンター放射線診断部長が報告した。昨年十一月初め、全国の検診期間に調査表を送り、昨年一月末に締切った。資料の分析に正確を期するため、報告を半年遅らせた。

胃集検二〇%増
追跡調査や検診の統計を最もよく行っているI群が間接集検機では四〇三カ所中、三七〇カ所で九一・八%を占めており、前年の七六・七%を大きく上回っている。性・年齢別に集計されているII群が十七機、集検数のみのIII群が十六機、直接撮影の一六六機、中間I群は一四一機(八四・九%)で、前年より一七・一%高い。II群一機、III群一三機。

各群合計の受信者数は、六四六万九千九百七十七人(約二〇%)と急増している。発見率は七・〇二八人で、発見率は〇・一〇九%。これを精検受診率を一〇〇%とした場合の推定がん発見率は九・四四六人、同発見率は〇・一四九%になる。

大腸集検減る
一〇六機から回答があったが、前回の一五一機より三〇%減。I群は八四機、II群は六機、III群は六機、受診者総数は八四、〇〇六人、要精検率は五・八七%、癌発見率は九・一九人で発見率は〇・一一%、うち早期癌の割合は四六・四%。早期癌の割合は地域検診の方がやや高目。

職域精検受診率悪い
地域検診が三五七万人(五七%)、職域検診が二六九万人(四三%)。両者の要精検率の差は一三・九%と一三・〇%でわずかながら、精検受診率は地域が八三・二%、職域は五八・八%と、両者には大きな差がある。

早期癌発見見える
発見者の年齢階級別では、四〇歳代前半にピークがあり、四〇歳代と五〇歳代合わせて六一・四%を占める。三九歳以下は二二・一%、七〇歳以上は五・四%である。要精検率は三〇歳から八〇歳まで加齢とともに上昇し、精検受診率もほぼ同様傾向だが、七〇歳以上では、低下傾向を認められる。癌発見率は五〇歳以上では上昇傾向が顕著に現れており、発見者が占める早期癌の割合は、三四歳以下を除けば、どの年齢層でもほぼ五〇%以上を占めている。

市川平三郎
世話人代表
国立がんセンター名誉院長
けなければよい、助けたのだからあまり文句を言わない、という態度が見える場合で、この量の方も大切なのだ、が、もっと気分よく話してほしいというのが質の方だ。極端な例をあげれば、手術をすれば明らかに治ると思われる患者が、「身体にメスを入れるなんて野蛮な治療はしてほしくない。たとえがんでも、そのまま自然にして天命に従わせてほしい」と言ったとしか、これは別の言い方をすれば、量は無視してもいいから、説得してくれた人に心から

がん死亡率
最高は佐賀
厚生省統計情報部は、このほど平成三年の人口動態統計の確定数を発表した。死亡総数は八十二万九千七百九十七人で、前年より九千四百九十二人の増。うちがんによる死者は二十二万三千七百二十七人で、前年より六千三百三十四人増えた。

QOL考
QOL(Quality of Life)の略(つまり、生命とか生活の質のことであるが、これが最近しばしば話題になる。この言葉はもう二十年も前から言われてきたし、言われなくても、もともと前から医療関係者は誰でも心掛けて来たことだが、今、これが盛んに言われるようになって来たのは、質よりも量に重をおく風潮が強くなりすぎ、質を忘れられて迷って来たせいだろう。量とは、例えば生命を助

わが国の死亡
四人に一人は癌
わが国のがん死亡者数は、終戦直後は五万人台でしたが、その後年々ふえて昭和五十六年(一九八一年)には一六万六千三百九十九人に達し、遂にがんが脳卒中を抜いて、死因の第一位になりました。死因のトップが入れ替わったのは、昭和二十六年(一九五一年)以来、三〇年ぶりのことです。

QOL
QOL(Quality of Life)の略(つまり、生命とか生活の質のことであるが、これが最近しばしば話題になる。この言葉はもう二十年も前から言われてきたし、言われなくても、もともと前から医療関係者は誰でも心掛けて来たことだが、今、これが盛んに言われるようになって来たのは、質よりも量に重をおく風潮が強くなりすぎ、質を忘れられて迷って来たせいだろう。量とは、例えば生命を助

透視台
安くドンドン
「いいモノを安くドンドン」という時代は去った。この現象が成り立つためには、生産に必要な材料資源、エネルギーが無制限に近く存在している、必要なのはいつでも自在に調達でき、駆使することができるとみなすことから始まった。

QOL
QOL(Quality of Life)の略(つまり、生命とか生活の質のことであるが、これが最近しばしば話題になる。この言葉はもう二十年も前から言われてきたし、言われなくても、もともと前から医療関係者は誰でも心掛けて来たことだが、今、これが盛んに言われるようになって来たのは、質よりも量に重をおく風潮が強くなりすぎ、質を忘れられて迷って来たせいだろう。量とは、例えば生命を助

透視台
安くドンドン
「いいモノを安くドンドン」という時代は去った。この現象が成り立つためには、生産に必要な材料資源、エネルギーが無制限に近く存在している、必要なのはいつでも自在に調達でき、駆使することができるとみなすことから始まった。

平成3年のがん死亡数と死亡率(確定)

癌種	死亡数		死亡率(10万対)	
	男	女	男	女
全がん	134,475	89,252	222.5	142.4
胃	6,263	1,294	10.4	2.1
大腸	30,296	17,600	50.1	28.1
肺	13,853	11,781	22.9	18.8
肝臓	18,765	7,003	31.1	11.2
膵臓	7,581	6,024	12.5	9.6
胆	27,968	10,231	46.3	16.3
腎臓	43	6,309	0.1	10.1
子宮	—	4,610	—	7.4
乳がん	3,190	2,395	5.3	3.8
その他	26,559	22,005	43.9	35.1

「いいモノを安くドンドン」という時代は去った。この現象が成り立つためには、生産に必要な材料資源、エネルギーが無制限に近く存在している、必要なのはいつでも自在に調達でき、駆使することができるとみなすことから始まった。またドンドン生み出されたモノが消費者によって消費され、消費者の生活に効用をもたらすこと。予測に反して売れ残れば大量のゴミが堆積されるだけである。(尊敬おおく能わさる企業「内橋克人著、光文社刊」TVや冷蔵庫等が大型化して、消費電力も増大している。メーカーは「消費者が望むから」といつているが、若干のモデルチェンジをして消費者に売りつけているわけだ。確かに、冷蔵庫は大きい方が便利だし、TVも大きい方が見やすい。それでは消費電力がふえるし、清浄剤としてのフロンガスも大量に使われ、地球は果てしなく、「危機」に追い込まれて行く。大気中に飛散したフロンは成層圏のオゾン層を連鎖的に破壊し、オゾン層という「地球の天井」に穴をあけてしまう。そうすると紫外線の量がふえ、皮膚がんの発生率は高まる。二十四時のTVを作るよりも二十時で性能をよくした方が、エネルギーの消費は圧えられる。発電にしても、有限な化石燃料を使うよりも、再生可能なエネルギー、即ち太陽光発電などに取組むべきではなからうか。当初は採算に合わないかもしれないが、日本の技術水準から考えれば、至難の業とは言えない。地球をわれわれの時代でいたためつけ、修復不可能なまでに収奪してはならない。有限な地球を子孫に残す義務がある。身の回りのことから考え直す必要がある。

デジタル胃腸部集検X線システム

即画像

- スピーディな検査—撮影像のリアルタイム確認
- 省力化—画像のデジタル記録・保管
- 画質の向上—1.6倍拡大撮影による画像情報の増大
- 一人分の画像を一度に表示する読影専用装置

5インチ光磁気ディスク

検査終了後 即診断 現像処理不要

読影専用装置

デジタル撮影装置(車載可)

「かかりつけ医師」へ 厚生省―五年度から

胃癌罹患者率は減らず 膵臓がんは一次予防を

厚生省は来年度から、「かかりつけ医師推進モデル事業」を始める。大病院では、三時間待ちで三分間診療など、患者の病状を聞くようなゆとりはない。妊娠、出産、小児科、成人病など、生活全般を知っている医師が必要なのに、そのような地域のかかりつけの医師が少なくなくなった。もう一度医療の機能を見直そうというわけだ。

第四十五回日本消化器学会関東甲信越地方会は二月二十日、東京・全電通労働会館で開かれた。席上、国立がんセンター中央病院渡辺昌彦学部長は「消化器癌のハイリスクグループについて」の教育講演をした。その中で「胃がんの罹患者率は減っていない」「大腸がんは食事の欧化が原因」「膵臓がんは一次予防に心がけること」などと話した。

病態に見合った診療
これまでの医療政策は、病床がある病院を中心とした。しかし、高齢化社会が進み、高血圧、心臓病、糖尿病などの慢性疾患が多くなってきた。病態も大きく変わっているため、交代制の医師がいる大病院では、きめ細かな対応ができない。じっくり時間をかけて、病歴を聞き出し、それに見合った診療をする。いわば「かかりつけの医師」が必要なのだ。

胃、罹患者率は減らず
今回は胃と大腸がん、膵臓がんを取り上げたい。がんは年齢に依存している。一般的に年齢の四乗に比例してがんになりやすくなる。八十歳まで生きていけば、男性の半分ぐらい、女性は三分の一ぐらいががんらかのガンになる。六十五歳だと、一五％ぐらいだ。一番多いのは胃がんで、七五歳までに一〇％が胃がんになる。次に肺がん、肝がん、結腸がん。年をとってから増えるのが前立腺がん、九〇歳になると、十人に一人ぐらいになる。女性はやはりトッパは胃がんで、次が結腸がん、乳がん。がんをいつ診断して、いつ治療するかは、がん細胞自体の基礎的な性格とか、なぜがんになってくるのかというメカニズムがはつきりしてると、より科学的な

決まった医師は六割
「モデル事業」では、妊婦検診や一歳半検診、成人病検査など、かかりつけの医師を紹介するほか、診療

ベースに基づいて医療行為ができる。発がんのモデルとしては動物実験などから最初の正常細胞からインナーターという発がん物質の動きによってなんらかのインシエーター細胞が生み出される。この段階をインシエーターという。さらにプロモーターというがん細胞が生まれてくる。それがプログレッションによって悪性ながんになっていくという。概念的に分ってきたが、ここ十年間の特に遺伝子工学の進歩で、より具体的にわかってきた。

医師に携帯電話
各都道府県は「かかりつけ医師推進委員会」を設け、相談窓口でかかりつけの診療所を紹介するほか、診療

胃癌、六割以上助かる
我々が認識できるのは病理組織診断で、正常組織、前がん病変、早期がんという大雑把な分け方になって行くわけだが、この裏側では遺伝子の変化が積み重なっている。どこでどのよう

急を要する病気で連絡体制を整えれば安心
時間や診療科を明記したパンフレットなどを作り、住民に配る。また、医師には夜間や外出する時でも、患者からの相談を受けられるよう携帯電話を持ってもらう。

大腸がんは食事の欧化
大腸がんはリスクとして、生活、食事の西洋化が挙げられている。そのほかどうい関係があるかを分析しているが、果別にみれば大腸がん死亡と、果別にみれば大豆、あるいは豆腐製品の摂取量に関係があるかどうかをみると、有意な逆相関がみられた。

男は長野女性は沖縄
一九六五年から六回目の調査で、前回と比べて平均寿命は各都道府県とも伸びている。男性のトップは長野で七七・四四歳、前回は七六・七三歳、前回は七五・七三歳、女性

膵臓がんは一次予防を
膵臓がんは、死亡が急速な勢いで増えているが、罹患者は四、五十歳まではそれほど増えない。横ばいと言っている。急速に高齢者側で増えている。死亡も四、五十歳までは軽度の上昇で、最近ではむしろ横ばい、安定化してきているが、高

大都市の平均寿命、伸び鈍る
東京、大阪、名古屋の大都市で、平均寿命の順位が落ちて、寿命の伸びが鈍化していることが分かった。これは厚生省が五年前に実施している「一九九〇年都道府県別生命表」で明らかにした。前回の調査では、五位だった東京の男性は今回は十四位に、女性も十一位から二十七位に。大阪は女性も最下位で、男性も二番目に低かった。

膵臓がんも食生活と密接
膵臓がんも食生活と密接に關係している。特に西洋型の肉を食べることが關係している。果別の蛋白質摂取量と膵臓がんの死亡率の關係では、男性も女性も有意な相関を持っていた。

大都市の鈍化目立つ
六五年の調査開始当時は男女とも東京がトップだったが、八〇年に男性が四位になり、八五年には五位、さらに今回は七六・三五歳で十四位に転落した。女性も七十五歳までは三位以内に入っていたが、八〇年には七位、前回は十一位、そして今回は二十七位と大幅

年齢別の死亡が増えている
膵臓がんも年間一万人ぐらゐが亡くなっている。しかも、難治がんの代表例である。

ただでがん保険だけではがんは防げません。
例えば
緑黄色野菜を
いっぱい取る。

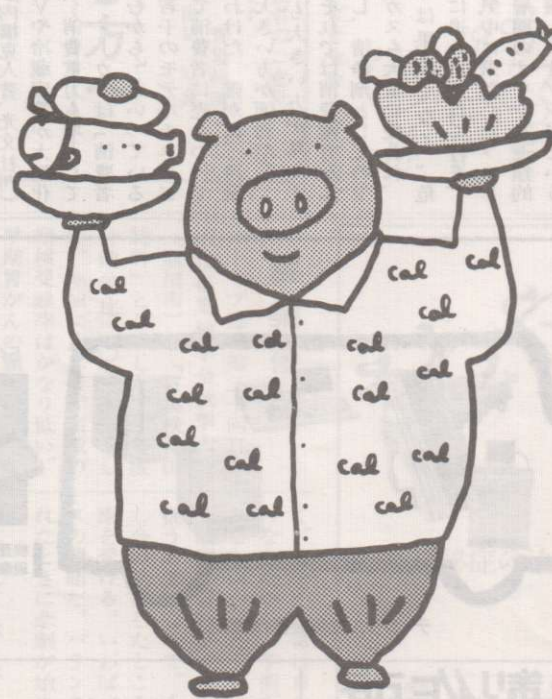
（がん）の予防に有効な12か条があります。ご参考までに。

- ①食卓は彩り豊かに
- ②毎日変化に富んだメニューを
- ③食事の量は腹8分目、脂肪はとりすぎない
- ④お酒はほどほどに
- ⑤煙草はひかえて
- ⑥ビタミンと食物繊維はたっぷり
- ⑦塩分は少なく、熱いものはさまして
- ⑧焦げた部分は食べない
- ⑨カビのはえたものには要注意
- ⑩日光にはあたりすぎない
- ⑪適度なスポーツでストレス解消
- ⑫体はいつもキレイに清潔に。

そして、早期発見のための定期検診をぜひおすすめします。
その上に、大きな保障のがん保険に入っておけば安心です。

スーパーがん保険

＜がん保険＞と＜介護保険＞のハイオニア
アメリカンファミリー生命保険会社
〒163 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル12階
(03)3344-2701代・お客様相談センター (03)3342-1660
（国立がんセンター構内）



コレステロール値急上昇 働き盛りに赤信号

動脈硬化のもとになるコレステロール値が、この十年間で男女とも高くなっている。とくに、男性の肥満がふえており、四十歳代の男性に多いという調査が厚生省のこのほどの調査で分った。仕事で忙しく感動不足になり勝ちで健康管理に気を使う余裕のない「仕事人間」の姿が如実に現われている。

コレステロール急上昇

厚生省は十年ごとに、循環器疾患基礎調査を実施している。総じてコレステロールは女性の方が値は高いものの、働き盛りの男性のコレステロール値の上昇が目立っている。九〇年十一月、三十歳以上の男女一万人を対象に、血圧測定や血液検査などをし、過去のデータと比較した。

働き盛り要注意

注意を必要とする二二〇グラム以上の値を示している人も女性に多かったが、これは閉経による生理的な変化と考えられる。男性では二二〇グラムを超える人が四十歳代で三〇％を占め、ほかの年齢層が二〇％代であるの比べ、高い割合になっている。

も男と同様に、東北、東甲信地区が他地区に比べ低い傾向を示している。近畿地区では他地区に比べ、三十歳代一五十歳代で高い傾向を示している。

脳卒中などの原因になる高血圧についてみると、前回八〇年調査と比べ、最大血圧の平均値が一三五・八から一三五・三とわずかながら減少。これは健康に対する関心から、塩分の摂り過ぎに注意していることなどがあげられる。

「ジオキサン」に 発がん性の疑い

工場での機械部品の洗浄作業などに幅広く使われている有機溶剤の「一・四・ジオキサン」に発がん性の疑いがあることがわかり、労働省は十二月二十一日、同物質を扱う労働者の健康障害を防ぐ指針を公表した。今後、労働基準監督署などを通じて関係事業所の指導を進める。

「薄いあじの関西」といわれたが、今回の調査では、高血圧の割合は男性の場合、関西地域、中国、四国、九州地域がそれぞれ二四％と高く、これまで塩分の摂り過ぎといわれてきた東北地域は二二％と逆転している。コレステロール値も関西地域が男女とも全国で最も高い地域となっており、これまで、「関西は薄あじ」と信じられていたが、必ずしもそうではないことが分った。習慣はこの十年で大きく変わったわけだ。

「薄いあじの関西」といわれたが、今回の調査では、高血圧の割合は男性の場合、関西地域、中国、四国、九州地域がそれぞれ二四％と高く、これまで塩分の摂り過ぎといわれてきた東北地域は二二％と逆転している。コレステロール値も関西地域が男女とも全国で最も高い地域となっており、これまで、「関西は薄あじ」と信じられていたが、必ずしもそうではないことが分った。習慣はこの十年で大きく変わったわけだ。

四〇グラムと一六〇グラム増えており男性の中では最高値を示している。

コレステロールの成分の一つであるトリグリセライドの平均値も四十歳代の男性が血清一〇〇cc当たり一六三・〇グラムと最も高い。逆に血管のコレステロールを取り除く役目をする「善玉」のHDL（高密度リポ蛋白）コレステロールの値は、四十歳代男性の平均値が最も低い一〇〇cc当たり五・〇グラムである。

「肥満」男ふえる
慎重と体重から算出した比体重で「肥満」と判定された人は、女性は十年前の三六％から三四％に減った。逆に男性は一六％から一八％にふえており、三十歳代では一四％から一六％へ増えている。

職場での機械部品の洗浄作業などに幅広く使われている有機溶剤の「一・四・ジオキサン」に発がん性の疑いがあることがわかり、労働省は十二月二十一日、同物質を扱う労働者の健康障害を防ぐ指針を公表した。今後、労働基準監督署などを通じて関係事業所の指導を進める。

コホートとは、ローマ時代の百人隊とか、千人隊という部隊の単位である。一定の集団を調査・追跡してどのような結果になるか、どのようなことを解析する研究がコホート研究である。喫煙とがんとの関係、受動喫煙の危険性、緑黄色野菜ががんの危険を減らすことなど、かずかずの発見は世界に先駆けて国立がんセンター研究所前疫学部長の平山らの保健所をベースにしたコホート研究によってなされた。これは全国各地で二十五六万人の住民を対象に一九六五年から十七年間追跡された。

多くの慢性疾患は単一の原因によって起きるものではない。長年の生活習慣の積み重ねで、高齢になるとがんのみならず、高血圧や心臓病、糖尿病や通風など、さまざまな慢性疾患に悩まされることになる。逆に、単一の原因が多くなることもある。喫煙のようにがん、心臓病、肺気腫、くも膜下出血のようにいろいろな病気の原因と考えられている生活習慣もある。

私達の研究室では、「死ぬまで健康な生活」を目標に、長期にわたって生活習慣と生体指標を調べ、疾患とのかかわり合いをみるコホート研究を行っている。一九九〇年にスタートし二十二年間追跡する予定であるが、全国で五保健所管内の住民の方に参加してもらい、食事や生活習慣の調査とともに血液、白血球を凍結保存し、将来の解析に役立てようとしている。現在約六万人の調査を終えた。五年ごとに生活習慣の変化も再調査する予定である。

コホート研究は、対象疾患を有する患者と対照者のあいだにリスク要因の差があるかという調査により原因を推測する症例対照研究に比べると、費用も期間も比べものにならないほどかかるが、予期せぬ未知の原因が発見できる可能性が高く、またあらゆる慢性疾患のリスクを同時に比較検討できる、多目的の研究に使用できるなどの利点がある。症例対照研究は昔のリスクを聞き出して検討するので終了向き研究とも呼ばれるし、コホート研究は将来の結果を待つので前向き研究とも呼ばれる。

慢性疾患の原因解明にはコホート研究が最も適しているが、費用の点から企業労働者を対象として職業性曝露とがんの関係を探るというような比較的小規模なものが多かった。住民を対象とした大規模なものには私達の厚生省コホートの他に、国内では文部省のがん特別研究費で青木班のコホート研究が進行中である。米国、欧州（EEC）においても進行中あるいは計画中のものがある。厚生省では多目的コホートの建設に一九九二年から正式に予算措置をとったので、将来を指した貴重な研究資源となるはずである。長野県の佐久健康保健センターと共同で研究している検診受診者のコホートはすでに十五年ほどの経年データベースをリンクさせることにより、疾病予測の可能性についての検討が可能になった。

将来は疾病の予防効果もこのようなコホートで科学的に定量化され実証されるようになるであろう。

（国立がんセンター研究所疫学部長、渡辺昌氏筆、日本医師会雑誌第一〇七巻、第十一号から）



窪田博吉部長

時は容赦なく過ぎて、年は改まった。グローバルには一九九三年、この国に限っていえば平成五年である。この西暦と元号を使い分けるだけでも繁雑であるのに、私の頭の中にはもうひとつ層がある。それによると今年が昭和六十八年に当る。

私は大正の生まれだが、物心ついた頃には昭和に変わっていた。昭和三年に小学校に入り、昭和九年に中学校、昭和十四年に高等学校、昭和十七年に大学入学というように節目が西暦でなく昭和でインプットされている。世は平成に変わっても何年前というようになるとなると昭和の年号を使っている。

そんな面倒を避けるためにも西暦一本にするのが良かったらという考えや主張があっても不思議ではない。世は国際化の時代でもある。そんな風潮を反映してか、新聞の日附は西暦を採って平成はカッコでくっつけて表示している。雑誌のたぐいになると西暦だけで元号は捨てられて久しい。ジャーナリズムは元号を嫌っているように見え、元号は法律のもとに辛うじて生きてるように思える時もある。

逆にメートル法はこの国から尺貫という単位を駆逐した。先日、相撲のTV放送

送るに韓国I.O.C委員キムウリヨンという方が出ておられた。氏名は相撲通で紹介されたのであってその批評は的を射ていたし、日本語も上手だった。力士の慎重体重にふれ、五尺九寸一分とか三十八貫の方がいいと感想をのべていたのが印象に残った。法律は恐るべきもので一国の文化を破壊してしまう力を持っている。

それはさておき、正月は一年のうち最も大きい節目であろう。だから昔から國中何処でも暮れには大掃除をし、餅をつき、門松しめ縄をお供えを飾り、元日には衣服をあらためて御神酒をいただいたり新年の挨拶を交わした。細部ではそれぞれ

の家に伝承されたきたりがあるので厳重に守られていた。いま、日本中でその伝統が守られている家庭がどのくらいあるのだろうか。かくいう私は完全といわないまでも失格といえる。しきたりを守ろうにも、先づ、その中核となる神棚が無い。三方、素焼の瓶子、皿小鉢などの小道具も無い。老夫婦二人だけでは張り合えない。ついサボって元日も他の三六四日と同じことになってしまう。

「諸君！」新年号で山本夏彦は昔の正月の模様をいくつかが挙げ、今や正月の行事は減らされ、残っているのは御歳暮と年賀状ぐらいのものだけだといっている。どう

やらサボっているのは私だけではない。唯一残った年賀状も虚礼だということまで減っている。虚礼というのは口実で実は面倒くさいのではなからうか。

私は十数年前から年賀状を受取つてから答礼の形で差上げるといふ方式をとっている。大層失礼だとも思っているのだが、感想などを書き添えるから結構骨の折れる作業である。それだけ楽しいことでもある。

なかに常連みたいなのに、問ひかけに私が答えるというのがある。

胃集検の現場から(13)

神奈川県労働衛生福祉協会
消化診断部長

窪田 博吉

WHO次期事務局長に中島宏氏
WHO事務局長に再選

WHO次期事務局長に中島宏氏
WHO事務局長に再選

WHO次期事務局長に中島宏氏
WHO事務局長に再選

WHO次期事務局長に中島宏氏
WHO事務局長に再選

WHO次期事務局長に中島宏氏
WHO事務局長に再選

WHO次期事務局長に中島宏氏
WHO事務局長に再選

技術の日立
これからは

スーパーアイランドです。 HITACHI

検診車へヨコ積みするときでも「60cmの映像系タテスライド」・「逆傾斜45°」
と機能を大きくし、さらに「映像系のヨコスライド」を装備して天板のスライドをなくしました。
"設置スペースが絶対的に狭い検診車にスペース効率良く搭載でき、しかも検診効率を良くし
面質を向上させる。"
この日立のコンセプトをさらにつきつめた
のが「スーパーアイランド」です。

胃集団検診用X線装置
TU-MA5N

株式会社 日立メデコ

前庭部、胃角に多い 経過検査別の胃癌

第四十五回地方会一般演題で、千葉県がん協会と千葉県がんセンターは、毎年約十三万人の集検を行っている。要精検率は一四・七％で、精密検査を行っているが、残念ながら進行癌でみつかるといわれる。ここでは進行癌を減らす目的で検討を行なった。対象は平成一年〜二年まで当センターで精密検査を行なった二〇〇例で集検と非集検例(直接X-IP検査、内視鏡検査)に分けた。

集検例で初回検査例、早期癌三・八、進行癌三・四。受診の既往はあるが前年度未受診例早期癌一〇、進行癌七。二年以上経過例早期癌四・八、進行癌二・三。集検以外例で初回検査例早期癌九、進行癌四。経過例早期

施設検診がふえる 精度は車検診が上

第四十五回地方会(二月二十日、東京・全電通会館)一般演題で、佐久市立国保浅間総合病院の疋塚雄医師は「佐久市における胃検診の考察―車検診と施設検診―」に次のように話した。「精度は車検診が上だが、施設検診が徐々にふえている」。

発見率は車が上

今回は二つの胃検診を検討する。一つは誕生月検診で、施設で行う総合検診。最近の受診者の平均年齢は五十六歳、読影は病院医師撮影は間接八枚。車検診は県成人病予防協会が各地区で二月から三月ごろ。平均年齢は六十一歳で、読影は医師会の読影委員、撮影は六枚。

誕生月検診の六年間の検診受診者は二万二千人。うち胃検診の受診者は五千七百七十九人で二八・八％の要精検率。このうち精検を受けたものは三千七百五十六人で六五％。発見胃がんは三十一例、発見率〇・一五％。早期胃がん二十一例。

この集検経過進行癌二・三例について経過年数、胃癌分類、発生部位、組織分類について各々検討を行なったが、四年経過例でポルマンII型が九例と多く認められた以外、経過年数、発生部位、組織分類で特徴は認められなかった。

視点をかえてX-IPの見直しを行なった。その結果所見のあった症例は前庭部から胃角に多く、分化型癌であった。所見の認められなかった症例は胃角から穹隆部に多く未分化型癌であ

一・九％。車検診の場合には二例の疑陰性例があった。感度は八九・五％。特異度八二・九％。胃がん発見率は、誕生月検診では〇・一五、車検診では〇・三〇と、車検診の方が精度が高い。

車検診の推移と誕生月検診の推移をみると、残念ながら、精度のいい車検診が落ちて、九二年現在、この傾向は続くようだ。誕生月検診が主流になりそうだが、四分の一の管理検診、四分の一ぐらいの要精検率となると、半分が胃の内視鏡の管理ということになりかねない。

胃角は特に注意

経過検査で三二％進行癌を認めるが、この数を減らすためには前庭部、胃角は読影に際して特に注意する事、胃角より上部は病変を確実に描出する方法を検討するか、他の方法を併用して補うか、今後検討を加えたい。

四割、わが家に戻れず 老人保健施設退所後のお年寄り

この制度は八八年から始まった。当初は三ヶ月の在留期間で退所することを想定していたが、核家族化や家庭の間取り、在宅医療の立ち遅れなどから、家庭復帰はできない。逆に医療期間へ送りかえされるケースが、特に大都市圏で目立っている。

大腸精検の再検討 異常なしに進行癌

第四十五回地方会一般演題で、東京都がん検診センターの北野伸浩医師は「大腸精密検査異常なし群の追跡調査結果」と題して次のように話した。「異常なし群からも進行癌を認めた。便潜血反応検査、注腸検査、大腸内視鏡検査をどのよう

在所日数伸びる

この調査は八九年に始まり今年が三回目。全国の老人保健施設五百二十二カ所を対象に、昨年九月中の利用者を調べた。入所者の平均年齢は八二・八歳だった。

大谷藤郎氏に レオン・ベルナル 基金賞

WHO執行理事会で、一月二十六日、大谷藤郎氏財団法人、社会福祉法人藤楓会理事長、元厚生省医務局長)のレオン・ベルナル基金賞受賞がきまつた。

退所後は医療機関へ

退所後の家庭以外への行き先を見ると、病院などの医療機関へ送られるお年寄りは三三％、社会福祉施設へは八％となっている。

成績及び結論

その後の大腸検査受診率は三二・六％であった。新たに四例のポリプ、一例の進行癌を認めた。

長期滞在ふえる

入所者三六、〇七二人の在所期間をみると、三ヶ月未満が三二・五％で前より五％減り、逆に一年半以上二年以内が前年の三・八％から五・九％へ、二年以上が前年の〇・五％から六％へとそれぞれ大幅にふえた。



集団検診に最適なダブルガンタイプと超高感度タイプ

QFは高鮮鋭度で豊かな階調を持った、90秒処理が可能なダブルガンタイプのオルソフィルムです。

- 幅広いラチチュードにより、胸部撮影や胃部造影撮影に二使用いただけます。

QF-PはQFの優れた写真真特性を基本にポリエステルベースを採用し、集団検診の作業能率向上に役立つ長尺巻きのII.Sポットカメラ専用のオルソフィルムです。

GSは被曝線量を軽減し、超高感度を誇るミラーカメラ専用のオルソフィルムです。

- 胸部造影をはじめ、胃部造影撮影に適した写真真特性をそなえています。
- 超高感度にもかかわらず粒状性に優れ、カブリも少なくクリアな写真が得られます。

コニカ株式会社
163 東京都新宿区西新宿1-26-2 TEL (03) 3349-5175(代)

コニカX-レイフィルム(間接撮影用)
QF・QF-P/GS



I&IのFUJIFILM

システムで考えたイメージングフィルム。

集団検診等に欠かせない間接撮影の診断画像に高精度を求め、富士フィルムが開発した豊富なバリエーションのオルソフィルムです。広いラチチュード、最適なコントラスト、優れた鮮鋭度など、あらゆる面から高感度・高画質を追及したメディカルイメージングフィルムです。

富士メディカルイメージングフィルム(間接撮影用)
MI-SF/MI-SF II/MI-SL/MI-FX

富士写真フィルム株式会社
総発売元 富士メディカルシステム株式会社
〒104 東京都中央区銀座7-13-8 第2丸高ビル ☎(03)3545-3321(代)

新残留農薬基準の取消しを —日本消費者連盟—

厚生省は十月一日現在で、社会福祉施設の概要をまとめた。それによると前年に比べて増加したのは「老人福祉施設」「精神薄弱者擁護施設」「身体障害者更生擁護施設」等である。減少したのは、子どもの減少もあって、「保育所」である。

老人福祉施設増

施設の種別別にみると、「保育所」二二、六六八施設、「児童福祉施設」一〇、四六〇施設、「老人福祉施設」七、一五五施設、「精神薄弱者擁護施設」一、八四四施設となっている。

前年に比べて増加したのは「老人福祉施設」六四九施設（一〇・〇％）、「精神薄弱者擁護施設」一六施設（六・七％）、「身体障害者更生擁護施設」五三施設（五・一％）。逆に減少したのは「保育所」三五施設（〇・二％）となっている。

施設数の推移をみると、昭和五五年（一九八〇年）に比べ、「精神薄弱者擁護施設」二・二倍、「老人福祉施設」二・一倍、「身体障害者更生擁護施設」一・九倍と

老人福祉施設ふえる —保育所は減る—

日本消費者連盟（代表、巨昌子、東京・食品安全ネットワーク）は、一月二十五日、厚生省が平成五年五月一日から実施しようとしている「新農薬基準」の取消しを求める訴状を東京地裁に出した。これは従来の基準を改めることにより、ポストハーベスト（収穫後残留農薬）使用が認められ、農薬の残留基準が高く設定され、発ガン物質の残留も含まれる危険なものである、としている。

基準の再検討を

厚生省は食品衛生調査会の答申を受けて、平成四年十月二十七日、三十四農薬についての残留基準を告示。平成五年五月一日から実施の方針である。

これに対し、日本消費者連盟は、告示の取消しを求めるとともに、残留農薬の基準設定について広く国民的議論を行い、食品衛生調査会での再検討を行なうよう要求している。

緩和の基準が不明

今回の基準は、従来設定されていた「残留基準」と「登録残留基準」に比べ、五〇倍から一〇〇〇倍も基準値が緩和されているもの

日本消費者連盟（代表、巨昌子、東京・食品安全ネットワーク）は、一月二十五日、厚生省が平成五年五月一日から実施しようとしている「新農薬基準」の取消しを求める訴状を東京地裁に出した。これは従来の基準を改めることにより、ポストハーベスト（収穫後残留農薬）使用が認められ、農薬の残留基準が高く設定され、発ガン物質の残留も含まれる危険なものである、としている。

基準の再検討を

厚生省は食品衛生調査会の答申を受けて、平成四年十月二十七日、三十四農薬についての残留基準を告示。平成五年五月一日から実施の方針である。

これに対し、日本消費者連盟は、告示の取消しを求めるとともに、残留農薬の基準設定について広く国民的議論を行い、食品衛生調査会での再検討を行なうよう要求している。

緩和の基準が不明

今回の基準は、従来設定されていた「残留基準」と「登録残留基準」に比べ、五〇倍から一〇〇〇倍も基準値が緩和されているもの

全国の社会福祉施設の定員は二、五七三、六二八人で、前年に比べ六、六六五人（〇・三％）増えている。種別別にみると、「保育所」一、九六九、一九七人、「老人福祉施設」二五七、〇〇五人等となっている。前年に比べ増えたのは、「老人福祉施設」七六、七三人となったのは、「老人福祉施設」一〇、二四四人（四・一％）、「精神薄弱者擁護施設」五、六七九人（六・一％）であり、減少したのは「保育所」一〇、二六二人（〇・五％）、「児童福祉施設」一、二七二人（一・三％）等である。

定員の推移をみると、昭和五五年に比べ、「精神薄弱者擁護施設」二・〇倍、「老人福祉施設」二・一倍、「精神薄弱者擁護施設」一・九倍と

害虫が発生しないようにして輸出する——を事実上認め、食糧の輸入に障害を与えないようにするため、アメリカやFAO（食糧農業機関・国連）の高い残留値を優先して採用している。それは、安全性をないがしろに貿易を優先させようとしているカウ（関税と貿易に関する一般協定）の検査・衛生分野における国際基準への統一化を先取りするものである。

P・H農業の先取り

今回の基準は、「ポスト・ハーベスト（Post Harvest）」——穀物の貯蔵・輸送に際し、害虫やカビの発生を防止するため、収穫後に農薬を散布すること。農産物をベルトコンベアで移動させ、農薬のシャワーをくぐらせ、二年間位は病

者擁護施設二・〇倍、「身体障害者更生擁護施設」一・八倍となっている。

老人福祉従事者増える

社会福祉施設の全国の従事者は六三六、八八六人で、前年に比べ一九、〇二七人（三・一％）の増。施設別では「保育所」三二、一〇八人、「老人福祉施設」一三五、二二九人、「児童福祉施設」七六、七三人となっている。前年に比べて増加したのは、「老人福祉施設」一〇、二四四人（四・一％）、「精神薄弱者擁護施設」五、六七九人（六・一％）、「精神薄弱者擁護施設」二、三七五人（五・六％）である。減少したのは「児童福祉施設」一、三〇六人（二・七％）である。

従事者の推移は、昭和五五年に比べ、「老人福祉施設」の二・一倍、「精神薄弱者擁護施設」一・九倍と

国民の健康を脅かす

このような基準設定の仕事は、食品衛生法の精神と食品の安全確保のルールを踏みとじるもので、アトピー性皮膚炎などアレルギーや化学物質過敏症など国民

（国立がんセンター中央病院名誉総長）に決定、第五回日本癌学会総会の会期中（九月二十九日から十月一日）に授賞式と記念講演が行われた。

吉田博士は動物の内臓に初めて腫瘍を作ったことで知られ、世界的にも吉田肉腫の開発者として名高い。杉村氏は記念講演の中で、吉田博士の数々の業績を紹介し、「癌研究の先駆者であり、常に新しい研究を開拓し、多くのフィールドを手掛けた」と讃え、「すべてに感性的な豊かな人間であった」と博士の人格にも触れた。

また今後の癌研究を展望するとともに、「吉田博士の名を冠した賞をもちたい」として、いっそう日本の癌研究に尽くしていこうと感じる。吉田博士が望まれたように、癌の研究者が待遇され、独創的に研究できるような努力していきたい」と受賞の喜びを語った。

（週刊医学界新聞より）

厚生省はこのほど、平成四年の人口動態統計の年間推計（十月まで）をまとめた。それによると、出生数を昨年を下回り、死亡率を上回っている。さらに婚姻数は前年を上回っているが、離婚数も上回っているという結果が出た。

出生数は減少

出生数は一二二万三千人で、平成三年の一二二万三千人より一万人減と推計され、出生率（人口千対）は九・八となり、平成三年の九・九を下回っている。

死亡数は増える

死亡数は八四万四千人で、平成三年の八三万人より二万四千九百人増。死亡率（人口千対）は六・九となり、平成三年の六・七を上回っている。

三大死因の死亡数と死亡率（人口十対）は、一位悪性新生物二二万人（一八六・三）、二位心疾患一七万

日本癌学会は、今年から故吉田三博士の業績を記念して「吉田賞」を制定し、第二回の受賞者を杉村隆氏

（国立がんセンター中央病院名誉総長）に決定、第五回日本癌学会総会の会期中（九月二十九日から十月一日）に授賞式と記念講演が行われた。

吉田博士は動物の内臓に初めて腫瘍を作ったことで知られ、世界的にも吉田肉腫の開発者として名高い。杉村氏は記念講演の中で、吉田博士の数々の業績を紹介し、「癌研究の先駆者であり、常に新しい研究を開拓し、多くのフィールドを手掛けた」と讃え、「すべてに感性的な豊かな人間であった」と博士の人格にも触れた。

また今後の癌研究を展望するとともに、「吉田博士の名を冠した賞をもちたい」として、いっそう日本の癌研究に尽くしていこうと感じる。吉田博士が望まれたように、癌の研究者が待遇され、独創的に研究できるような努力していきたい」と受賞の喜びを語った。

（週刊医学界新聞より）

婚姻、離婚数とも増

婚姻数は七五万七千組で、平成三年の七四万二千組より一萬五千組増。婚姻率（人口千対）は六・一となり、平成三年の六・〇を上回る。

また、離婚数は一七万九千組で、平成三年の十六万九千組より一萬組増と推計され、離婚率（人口千対）は一・四五となり、平成三年の一・三七を上回る。

死亡率は最下位

人口動態を国際比較してみると、出生率ではイタリアに次いで七カ国中六位。死亡率は七カ国中最下位。乳児死亡率はスウェーデンに次いで六位。婚姻率は四位。離婚率は六位である。

貝淵弘三氏（神戸大助教授・第一生化学）のP21とその類似低分子量GTP結合蛋白質の活性制御機構と機能

中村祐輔氏（癌研部長・生化学部）大腸癌の発生・進展に関する癌抑制遺伝子の単離

新田泰三氏（順大講師・脳神経外科）バイスベンフィック抗体を用いた悪性グリオーマに対する特異的免疫療法に関する研究

西村孝司氏（東海大学助教授・免疫学）ヒトCD4+ helper T cell 細胞大量培養系の確立とその癌免疫療法への応用

李宇氏（北大癌研大学院生・病理部門）肝炎、肝癌自然発症LECラットにおける肝癌発生メカニズムの病理的研究

T-粒子技術が、間接撮影用フィルムを変えた！

高鮮鋭画像のコダック PFH フィルム、新登場。

T-粒子孔剤技術が光吸収率の大幅アップに成功。高鮮鋭画像の間接撮影用フィルムを実現させました。ハイシャープネス、高解像力、そして、足切りのいいコントラスト。45秒の迅速処理も可能なコダック PFH フィルムは、これまでになかった診断情報量を提供します。

- ハイシャープネスで、くっきりとした画像。とくに二重造影の診断に、威力を発揮します。
- ヌケが良く、高濃度部がつぶれにくくなったため、どんな部位でも、また造影部分でも、診断しやすい画像が得られます。
- 45秒・90秒の迅速処理が可能。高温現像処理でも、カブリを低く抑えます。
- 感度は、画質重視の標準感度。撮影条件の設定が容易で、カブリが低く、粒状性の良いイメージが得られます。
- I-I間接用としてエスターベースPFHを、I-I及びミラーカメラ用としてアセテートベースPFHをご使用ください。明室で装填できます。

KODAK PFH Film

The new vision of Kodak

●資料のご請求およびお問合せは下記へどうぞ。

日本コダック株式会社 メディカル イメージング事業部
 東京都第一 千140 東京都品川区北品川4-7-35 御殿山ビル ☎(03)5488-2830
 東京都第二 千330 大宮市仲町1-104 大宮仲町AKビル ☎(048)643-9600

TOSHIBA 集団検診用として開発した、インバータ・ジェネレータを採用。

胸部集検用X線システム

- 高電圧装置に集検専用として新たに開発したインバータ・ジェネレータを採用。
- 省エネルギー、省スペースタイプのX線装置です。
- 検診効率を 格向上させるABC、AEC、ATR、オートアイリスなどの自動制御機構を標準装備。
- 操作性に優れた透視撮影台と併せて、より効率的に集団検診が行えます。さらに、スーム・メタルL1、カーボンファイバー大板など、鮮明な画像を得るためにも最先端の最先端技術を投入、価値ある検診を実現します。

オーバーテーブルチューブ式 間接用透視撮影台 DTP-500A

アンダーテーブルチューブ式 間接用透視撮影台 DTP-600A

株式会社 東芝・東芝メディカル株式会社 / 本社・東京都文京区本郷3丁目26番5号 ☎113-003(3818)2111(総合案内)

都 県
だより

神奈川県

老健法による胃・大腸
検診の現況を報告する



坪井 晨

神奈川県は東海(横浜、川崎の二市を除く地域)と横濱市、川崎市の三地区に大別され、それぞれの地区における行政、医師会の取り組み等に適合した方法で検診が行なわれている。県域では一次検診は車検診(間接)で大半の検診が行なわれており、車検診は一次検診機関一次検診連絡協議会に加盟している九つ民間検診機関が行っている。

受動喫煙、極めて有害

米 環境局 肺がんなど3,000人死亡

タバコを全く吸わない人にも喫煙は極めて有害という結論が一月七日、米環境保護局から発表された。嫌煙団体などは肺がんにかかった場合、愛煙家を相手に製造物責任法によって、損害賠償請求訴訟の道を開く画期的な内容だと、高く評価している。

受動喫煙で三千人死亡 同局はこの報告を一九九〇年にまとめたが、規制強化を恐れるタバコ製造業会の強い反対で、発表が遅れていた。同局がまとめた結論は、非喫煙者と肺がんの関係について、年間三千人以上の非喫煙者が受動喫煙(人の吸う煙をすわされること)による肺がんが原因で死亡している、と推定している。米国内では肺など呼吸器系が死亡する年間十五万人になるが、その二〇〇程度は非喫煙者が他人の喫煙による影響で死亡した計算になる。

米疾病予防センターの調査では、米国の喫煙率は二五・五%(九〇年)で、先進国ではスウェーデンなどと並んで喫煙率は低い。日本に比べると格段に低い。公共の場所や職場では、喫煙を制限しているところが多い。特に製造物責任法(Product Liability Law)欠陥製品の使用に起因する消費者の被害に対して、消費者が法的に損害賠償請求を行う場合、通常の民事訴訟の手続によれば、製品の供給者の側に故意または過失があったことを消費者

が立証しなければならぬ。これを消費者の有利なように改め、供給者の無過失責任を制度化するのがこの法律。これによって初めて消費者の権利が確立し、消費者保護の決め手となる。この概念が強い米国内では、大きな裁判問題に発展する見通しがある。

業界は猛反発 この結論が発表されるとの情報はもとづき「喫煙は健康か連合」は六日、クリントン次期政権と議会に反対し、喫煙規制の強化とタバコ税の大幅引き上げを求め、動きが激しくなっている。一方、フィリップ・モリス社と業界団体のタバコ協会は六日、「間接的にタバコの煙にさらされること、病気の間に立証された関係はない」と強く反論している。

日本禁煙医師連盟(投稿) 五島雄一郎東海大名醫院長を長として、平成四年五月三十一日に同連盟が発足した。病気を未然に防ぐ努力は医師のみならず、患者だけでなく多くの人々に参加してもらうことが大切である。この連盟が活動を拡大し、タバコのない社会を実現されることを祈りたい。また、そのために、誠心誠意と可能な方策から実施されるよう、に着実に歩んで欲しいと願っている。とにかく第一歩を踏むことにしよう。五島雄一郎氏によれば、心臓病は「自己破壊病」であると言っている。これには大きく三つの危険因子がある。飲酒、運動不足、喫煙である。中でもタバコの害は大きく、働き盛りのひとりの心筋梗塞の原因は、大半がタバコの影響に因ると説く。ニコチンは動脈硬化ばかりでなく発癌の危険もあるの

る。精検は東海の都市医師会の胃がん検診班のメンバーが行っている。その他少数ではあるが施設(間接)一部の医師会で施設(直接)がある。横濱市では車検診(間接)は横濱市立市民病院がん検診センターが、読影はがん検診センターが行う。また、その他に市医師会が行っている施設(直接)分(約一万名)がある。川崎市ではがん検診センターが行う車検診(間接)、保健所等での施設(間接)、その他に計画検診と云われている医師会の登録医による施設直接撮影によるもの(約二万名)がある。

胃がん検診 平成五年二月五日に行われた神奈川県成人病管理指導協議会胃がん部会(部会長坪井)の概要を述べる。報告事項としては(1)平成三年検診機関別胃がん検診実績報告について協議事項として(1)平成三年度市町村別胃がん検診実施状況について(2)平成四年胃がん検診X線撮影従事者講習会について、次の通り決定。日時 平成五年三月六日 場所 県立がんセンター 講習内容 (1)実態調査からみた精度管理 講師、村西久幸(県立がんセンター放射線技師長) (2)胃X線検査における撮影と読影のチェックポイント

ト 講師 吉田貞利(川崎市がんセンター所長) (3)精度管理における検診データ収集、特に発見がん患者個人票の扱いについての再検討 昨年度は地域がん登録の活用が問題になった。平成三年度胃がん検診実施成績(県衛生部による) 一次検診受診者数 全県一、二四、八三八 横濱市四三、七四一 川崎市二六、〇四七 東海五、〇五〇

大腸がん検診の部会は昭和六十二年十月に神奈川県がん対策委員会として発足、スクリーニングの方法、精検方法等について検討が行われ、概ね厚生省案に近いものが出来上った。平成五年二月二日に行われた神奈川県成人病管理指導協議会胃がん部会(部会長 大塚)の概要は 報告事項として (1)平成三年度大腸がん集団検診実施成績について(県衛生部による)なお、要精検者(要精検率)は全県一、八、九七七(一五・二%) 横濱市八、一八一(一八・七%) 川崎市二、九六八(一一・四%) 東海七、八四八(一四・三%) 精検受診率 全県八〇・八% 横濱市七六・二% 川崎市八四・七% 東海八三・九%

発見がん(九月末現在) 全県一五九、横濱市六九、川崎市四二、東海四八、大腸がん検診 ①注腸X線検査(異常者) 全大腸内視鏡検査 ②S字状結腸鏡検査+注腸X線検査(異常者) 全大腸内視鏡検査

検査と云う方法を新たに加えた。但し内視鏡検査については県医師会が定めた原則を守ることにした。大腸がん検診については大腸内視鏡研修のシステムを検討中である。また県医師会発行の「胃がん検診と大腸がん検診の手引き」が出来上った。

坪井 晨 神奈川県予防医学協会 大腸がん検診の精密検査に必要に応じて直接X線検査を行う。この連盟の活動方針が①病院、学校、地域、職域における禁煙指導の強力な推進②タバコの宣伝や未成年者への販売規制など、行政にたいするタバコ製作者改善の要求③海外の医師との連携によるタバコ対策の推進、となっている。いずれも大切な項目であり、是非進めてほしいと思うが、同時に喫煙者のマナーを指導する一歩を加えてはどうか。麻薬と違って、タバコの根絶はある意味からすれば、嗜好品の禁止になり兼ねない。もっと極端にいえば、第二の禁酒法と取られ

粘膜炎 胃炎・胃潰瘍治療剤
ケルナック カプセル 細粒
植物抽出・精製製剤 一般名：ブラウホール(指) 健保適用品
効能・効果：①下記疾患の胃粘膜病変(びらん、出血、発赤、浮腫)の改善 ②胃潰瘍。急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期。
使用上の注意は添付文書をご覧ください。
資料請求先 三共株式会社 千104 東京都中央区銀座2-7-12

薬価基準収載
平成4年12月1日より
1回30日間分の処方が可能となりました。
胃潰瘍治療剤
ムコスタ錠100
Mucosta® tablets レバミピド製剤
※効能・効果、用法・用量、使用上の注意等は製品添付文書をご参照ください。
製造発売元 大塚製薬株式会社 東京都千代田区神田司町2-9
資料請求先 大塚製薬株式会社 学術部 東京都千代田区神田司町2-2 大塚製薬神田第2ビル (93.1作成)

新・登場
今、OESは頂点へ。
OES30
“OES30”シリーズ。開発コンセプトは、使いやすさ、人に対するやさしさ。観察性能の向上、チャンネル径の拡大化、挿入性の向上、耐久性・洗滌性の向上を実現しました。まさに、OESシリーズの頂点、理想型ファイバースコープの誕生です。
■OES30シリーズ
上部消化管汎用ファイバースコープ OES TVシステム
GIF TYPE XQ30 JF TYPE IT30 OTV-F3
GIF TYPE P30 大腸ファイバースコープ
CF TYPE 30L/I/M
資料請求先 三共株式会社 千104 東京都中央区銀座2-7-12

“訂正死亡率は間違い” —市川氏語る—

三大成人病の死亡率30%に 厚生省、西暦2000年の努力目標

第十五回消化管撮影技術研修会(二月十日、十四日、十九日)で、厚生省老人保健課の中野恵補佐は、保健事業第三次計画について次のように話した。三大成人病は西暦二〇〇〇年までに死亡率を三〇%程度減少させる。胃がん、子宮がんは死亡率を五〇%程度減少させる。これはその抄録である。

第三次計画の目標

保健事業第三次計画では、三大成人病であるがん、心臓病、脳卒中による死亡率(四〇〜六九歳)の死亡率を低減させること、並びに後期高齢者の増加にともなう社会問題化してきた寝たきり老人を大幅に減少させることを目標とする。

三大成人病は西暦二〇〇〇年までに死亡率(基準人口を昭和六〇年のモデル人口として年齢補正を行った死亡率)を三〇%程度減少させる。

このうち胃がん、子宮がん、は二〇〇〇年までに、死亡率を五〇%程度減少させる。死亡率が上昇傾向にある肺がん、大腸がん、乳がんは対前年伸び率をゼロにする。

第三次計画の重点

一次予防の充実、成人病は生活習慣の改善が最も基本的な予防対策であることから、健康教育、健康相談等の一次予防の充実、強化を図る。具体的には、健康教育、健康相談の実施回数

を増、新たに、糖尿病、大腸がん予防のための重点健康教育・相談を開始するとともに、生活習慣改善指導を効果的に推進するため健康診査を充実する。集団から個人へ受診者の利便を考慮し、健康診査を魅力あるものとするため、基本健康診査と各がん検診を同時実施するいわゆる総合健康診査方式を導入するとともに、各種検診において利用券方式による実施を推進すること等により医療機関における個別健康診査の普及・促進を図る。

がん対策の推進

増加している大腸がんの対策を進めるため、新たに大腸がん検診を導入し、精密検査の実施体制を考慮しながら段階的に拡大を図る。併せて、大腸がん予防に関する健康教育を実施する。胃がん、子宮がんについては、従来からの集団検診方式に加えて、利用券方式による医療機関での個別検診や子宮がんおよび乳がん検診の同時実施など、創

意工夫をこらした対応により受診率の向上を図る。なお、乳がんに関しては、自己触診法の一層の普及を図る。

健康診査の質

都道府県成人病検診管理指導協議会の活動を充実し、健康診査の制度管理を強化する。特に肺がん検診については新たな実施基準により検診精度の向上をはかる。

福祉サービスの拡充

機能訓練の未実施市町村の解消、機能訓練対象者の拡大等により、機能訓練の充実を図るとともに痴呆性老人(精神症状を呈する者または行動異常がある者を除く)に対する訪問指導及び寝たきり者に対する訪問栄養指導、訪問口腔衛生指導を実施し、在宅要介護者に対する在宅支援サービスを推進する。

卒中情報システムの普及を図る。

その他
健康診査の受診率の目標については、国全体として基本健康診査五〇%、各がん検診三〇%とするが、各市町村は現在の受診率等、地域の特性を踏まえ、市町村ごとの目標を設定する。また、平成五年度を目途に策定される地方老人保健福祉計画において、保健事業第三次計画の趣旨を十分反映させる。



市川賞を受賞して

宮沢氏

竹野氏

平成四年九月二十六日、浦市において開催された第二十五回日本消化器集団検診学会関東甲信越地方会放射線技師部会、関東甲信越地方会放射線技師部会二十周年に市川賞を受賞した山梨県健康事業団の宮沢武夫、竹野数馬両氏から次のような喜びの声がとどいた。

栄ある市川平三郎賞が受賞出来たことは胃集検に従事する私にとりましてはこの上もない喜びであり、感謝しております。ありがとうございます。胃集検を始めた頃は「誰かがやらねば」と、思い続けてきましたが、今はやっていると、思っています。これからもこの賞に恥じない活動と、心掛をしたいと思います。私の好きな言葉「まず始めることそしてやめないこと」(竹野数馬)

第十五回消化管撮影技術研修会は、二月十日から十四日まで、例年通り千葉厚生年金休センター(千葉市仁戸名町)で行われた。閉講式の総括で市川平三郎氏は「最近がんの訂正死亡率という言葉が使われるが、罹患者率を使うべきである。塩の摂取が減って胃がんの死亡率が減ったというのも間違いである」とを説いた。

一次予防には限界

最近盛んに一次予防ということが声高にいわれる。しかし、一次予防には限界がある。高齢化社会が進めば進むほど、がんにかかる人がふえるのは常識だ。学会に発表されているものでも年間平均四千人が助かっている。新潟では集検を受けている人の約五倍が胃がんである。さらに北海道では十倍にもなるという。

早期発見の効果は大

一九八五年には、男が約五万、女は三万で合計八万のうち五万人が助かっている。疫学者は十三万人かかって死亡は三万五千人。かかる人はふえて、死亡する人は減っている。これは集

検による早期発見・早期治療の成果だが、それを認めていない。胃がんは五十代は四十代の倍、六十代は五十代の倍、七十代は六十代の倍発生する。そこで年齢調整をする。

節塩は罹患者を下げる

タイは日本よりもガんで死ぬ人が少ない。平均寿命が日本人の約半分だから、がんにかかる前に死んでしまっている。当然だ。

がん予防の心がけ

胃がん罹患者が塩の摂取と平行して減ったというなら分るが、死亡率が減ったという誤った考え方が多い。ことごとくどうしたか。

条というのが、国立がんセンターから発表されている。だが、これをすべて守ったら、味もそっけもないものになる。私が「これくらい守ったら」と思うものを四つほど上げる。

まず「バランスのとれた栄養をとる」次に「食べ過ぎを避け、脂肪をひかえめに」。三つ目は「タバコを少なくする」次いで、「適度にスポーツをする」くらいだ。

影響と対応」と副題をつけた平成四年国民生活白書を発表した。それによると、近年の少年の少子化の内外の動向を分析、考察し、今後の対応の基本的方向を検討した結果、「子供を健康に生み育てるためのよりよい環境づくりが大切」だとし、そのために①出産・育児に関する支援体制の一層の整備②住宅や公園などの親や子供がゆったりと安心して過ごせる空間の充実③一人一人の子供の個性が重視された教育の充実と教育負担の軽減が必要だと指摘している。

白書は、はじめに、第一部・少子化と家族・子供、第二部・景気減速下の家計の動向と最近の子供をめぐる消費動向及び、むすびから減っている。第一部では、少子化の内外の動向を分析するとともに、結婚と若者の意識、女性の職場進出と家族、子供の教育等について考察。あわせて今後の対応の基本的方向等について検討している。また、第二部では、最近の家計をめぐる動向を分析・整理するとともに、子供をめぐる近年の消費動向について分析を行い、今後の子供の消費について考察している。

Barytgen

バリトゲン ズル 100W/V%包装 (200ml・250ml・600ml・5ℓ)

バリトゲン ズル 120W/V%包装 (200ml・250ml・300ml)

バリトゲン ズル 145W/V%包装 (200ml・250ml)

バリトゲン 発泡顆粒 個人包装 (40包入・50包入) 2.5g・3.5g・4.5g・5g

バリトゲンデラックス 200g×75袋・600g×25袋

伏見製薬株式会社東京営業所
〒181 東京都三鷹市北野2-6-47 TEL 0422-49-2430

X線Ba造影剤

BARITOP
ズル：120W/V%・110W/V%・100W/V%
粉末：バリトP

Balgín
ズル：S2号・バムスター-S130・S3号
注腸専用ズル：ネオダルムズル
添加物：バルギン発泡顆粒

Kaigen 株式会社カイゲン
大阪市中央区道修町2丁目5-14
東京・横浜・名古屋・福岡・仙台・札幌・広島・金沢・高松

実地医家のための
胃X線読影のワンポイントアドバイス

国立がんセンター病院長 市川平三郎 監修
大阪桜橋武田診療所 武田 恭子 他編

キーワード、基礎知識・用語解説、そしてワンポイントアドバイスとわかりやすい構成で綴ったまったく新しいタイプの本。

胃X線写真読影という作業は誰でもがやっていて、誰でも判っているような気になるものだが、同じ写真を見ていても、人によって随分と違った考え方をしている。本書は研究会のカンファレンスの内容をまとめたもので国立がんセンター病院長の市川平三郎先生のアドバイスを数多くの症例をまじえて紹介。討論の会話は関西弁のままに臨場感をだした。

金原出版 〒113-91 東京都文京区湯島2-31-14
電話 (30)811-7184

B5判 240頁 300図 定価12,000円

効能・効果
●各種便秘症
●術後排便補助
●造影剤(硫酸バリウム)投与後の排便促進

※大腸検査(X線・内視鏡)前処置における腸管内容物の排除(液のみ)

●用法・用量、使用上の注意等につきましては、製品添付文書をご参照下さい。

緩下剤
ラキソベロン錠・液
(ピコスルファートナトリウム製剤)
Laxoberon

各種便秘症の治療に

販売 フジサワ 製造元・販売 TEIJIN 代理 Fher GmbH
大阪中央区道修町3-4-7 〒541 医薬事業本部 東京都千代田区内幸町2-1-1 〒100 インゲルハイムドイツ

資料請求先：
藤沢薬品工業株式会社薬事業本部
帝人薬業株式会社薬学部

※1992.4改訂

「人確法」の指針答申 医療関係保健婦助産婦部会

医療関係者審議会の保健婦助産婦部会（松野かほる部会長）は、十二月十五日、厚生・文部両省から諮問のあった看護婦等人材確保法に基づく「基本的な指針」を基本的な了承する答申を提出した。この指針では、就業、要請、処遇、資質など六項目に関する基本的な方向が示されている。今後、これに沿った具体的な人材確保対策が国、都道府県、医療機関等で実施されるが、その基盤が整備されたことになる。

看護婦等の就業動向

看護婦等の就業動向は、平成二年末で約八万四千一人。看護婦（士）が増加傾向にあり、看護婦（士）は、病院の勤務者が、看護婦（士）は、診療所への勤務者が増えている。

看護婦等の養成

平成四年四月現在、看護婦課程は三年課程が五〇〇校、一学年定員二、五、三、一〇人で二年課程が四二〇校、一学年定員一七、八九一人で、看護婦課程は六、九、九〇人である。

看護婦等の処遇

週四〇時間労働を目指して、完全週休二日制の普及等労働時間の短縮を進めていく必要がある。入院患者に、公的支援の活用により、独身者用個室や世帯住宅など

保健婦計画で九千六十人増

厚生省、地域対策強化

厚生省は、暮れの平成五年度予算編成に当たって、①保健所及び市町村保健婦を七カ年計画で九、〇六〇人増員する②市町村保健センターの整備費補助金を現行の三、五八九万から八、〇〇〇万円に引き上げるとともに、五年度一〇〇カ所（四年度四四カ所）を補助対象とする③保健所の基準面積を三六・六％、基準単価を二・一％引き上げる④地域保健推進特別事業費（補助率一〇／一〇として、新しく市町村を対象に加える先駆的保健婦活動等）に対して二億四、〇〇〇万円（四年度六億六千〇〇〇円）を計上し、保健婦の地域的画期的な強化策をきめこみ

保健婦研修は7月29、30日

—国際交流会館で—

平成五年度の保健婦研修は、七月二十九（木）三十（金）の両日、国立がんセンター中央病院の国際交流会館で開かれることが決つた。演題は検討中であるが、ことしも、保健婦、看護婦、事務職を対象に、約百五十名を予定している。

図書室

この本は「C型肝炎ウイルスに感染している」人、このウイルスについての知識をわかりやすく説明している。ウイルス肝炎研究財団常務理事の織田敏次氏は序の中で次のように述べている。

「肝炎もA型・B型については、予防法・治療法がほぼ確立されつつあります。非A非B型肝炎として残されておりました肝炎C型の薬の開発によりC型肝炎の診断も行われるようになり

特定フロン三年後に全廃

日生協「環境に優しく」

（社会保険出版社刊、二〇〇円、千二〇〇円）

当財団においては、A型とB型の肝炎について、先頃より広く知識普及をはかっています。新参のC型肝炎については、ウイルスキャリアと診断された方々、C型肝炎についてよく知りたいと希望される方々、あるいはHCV抗体陽性のために差別を受けた方々などから、当財団にもたくさんお問い合わせをいただいております。

各個人の症状については、かかっておられる主治医の的確な指示に従っていただくのが一番ですが、今回はC型肝炎についての一般的な事項、知識についてまとめてみました。

内容は(1)心配の種その一「うつる」ということ、(2)心配の種その二「どんな「病気」か」ということ(3)「必要な知識」(1)感染ルート(2)病気の自然経過と治療法、4、対策、(1)他人にうつさないための対策(2)病気を克服するための対策

ど宿舍の確保に努めるべきである。病院等における看護業務及び看護部門の位置づけを明確にするよう、管理者以下病院等全体としての組織的な取組みが重要である。

資質の向上

多方面にわたる基本的な知識の学習、自らの専門性の向上、患者の心理的理解など幅広い見識が求められる一方、エイズなどの新しい課題等に積極的に対応していく必要がある。

看護教育の方法、病棟の管理運営の改善等について、知識・技術の向上に努める必要がある。

看護婦等の就業の促進

今後、再就職促進のための事業の強化に取り組みとともに、働きやすい勤務条件、職場づくりを進めていく必要がある。

公共職業安定所と都道府県ナースセンターは相互に連携、協力を図りながら、職業紹介の充実を進めていく必要がある。

都道府県においては、看護等就業協力員等を活用しながら、ナースセンター事業の普及推進のための支援等に努める必要がある。

エイズ対策ほぼ満額

平成五年度予算案

政府は十二月二十六日の臨時閣議で、平成五年度予算（一般歳出三九兆九、一六八億円、三・一％増）の政府案を決めた。それによると、厚生省予算額は三十三兆一、七五二億で、前年度予算額に比べて四、〇八二億、三・二％の増という。

この状況の中で、最重点課題であった「エイズストップ作戦」関係の予算はほぼ要求通り一〇一億円が確保されたほか、ゴールドプランは満額確保され、新規の「健康文化と快適な暮らしのまち創造プラン」も認められた。

今回の特徴としては、エイズの総合対策の強力な推進のほか、マンパワーの確保にも重点が置かれ保健所と市町村保健婦を平成五年度に

投稿される方へ

本紙はできるだけ多くの読者のご意見を掲載したいと考えています。投稿は主張・提言・体験談、胃集検情報などのほか、詩、短歌、俳句、写真なども歓迎します。

締切はとくに設けません。字数は一〇〇〇字程度。編集部で要約する場合があります。お礼・採用の分には薄謝贈呈。送り先・関東甲信越地方会編集委員会

編集後記

トップは、第三十回日本消化器集検学会秋季大会（旭川市）の「胃集検全国統計」としました。二年度は前年比二〇％の増でした。地域に比べて、職域の精検受診率はかなり低い。早期胃がんの頻度は職域が高いのだから、精検受診率を大いに高めてほしい。

「胃がん罹患率は減らず」(二面、渡辺昌昌部長)は、最近となく軽視されがちな、胃がんについての警鐘だ。じっくりと読んでほしい。

厚生連長岡中央総合病院 原 敬治
東京都予防医学協会 福田ジュン
神奈川県予防医学協会 鈴木 信吾
東京都立台東病院 大槻 清孝
国立東京第二病院 大橋 秀一

特定フロン三年後に全廃

日生協「環境に優しく」

日本生活共同組合連合会（高村勲会長、六万七千七生協、組合員約千五百万人）は、七日、冷蔵庫・空調機器などで使用している特定フロンや、窒素酸化物（NOx）の問題を抱える直噴式

朝やわらかな

…快適な一日を…

ラキソベロン錠・液

各種便秘症の治療に

緩下剤
Laxoberon®
（ピコスルファートナトリウム製剤）
※1992.4改訂

効能・効果
●各種便秘症
●術後排便補助
●造影剤（硫酸バリウム）投与後の排便促進
※大腸検査（X線・内視鏡）前処置における腸管内容物の排除（液のみ）
●用法・用量、使用上の注意等につきましては、製品添付文書をご参照下さい。

販売 大塚製薬株式会社
TELJIN 大塚製薬株式会社
Fher GmbH
インゲルハイムドイツ